

平成28年度高松矯正管区教誨師研修会研修事業評価委員会議事録

1 開催日時

平成28年6月23日(木)午後3時40分から同4時30分まで

2 場所

矯正研修所高松支所第二教室

3 出席者

(1) 教誨師

高松矯正管区教誨師連盟会長	田村正教
高松刑務所教誨師	長尾恵澄
高松刑務所教誨師	久保博巳

(2) 職員

高松矯正管区成人矯正第二課長	大竹 聡
高松矯正管区成人矯正第二課事務官	前川 昭子

4 内容

(1) 参加者数について

(2) 研修内容について

(3) その他

5 議事録

(1) 参加者数について

増やす努力が必要である。施設会長に努力していただくよう、県会長会で強くお願いする。委嘱の時点で、研修には参加するものであるという認識を持たせるようにするべきである。経験の少ない人が参加すれば良いという感覚ではなく、自らの教誨に時代を反映させるためにも、研修には参加すべきであるという自覚を持っていただきたい。

(2) 研修内容について

ア 講演について

講演のテーマ(薬物依存症とその関わり方)が良かった。教誨をする際に、相手がどういう事犯者か知ることはないが、会話の中で薬物の話が出てきたときのために、知識として持っておくべきだと感じた。

イ 実践発表について

三者三様で良かった。瞑想については、具体的な方法の話があるともっと良かったと思う。質問が少なかったため、経験豊かな教誨師からもっと質問があると、両者にとって刺激になって良いと思う。

ウ 改善点

研修会中、実践発表者以外はほとんど話す機会がなかった。次の研修会では、もっと多くの教誨師が発言できるよう、実践発表という形態で

はなく、グループ討議を導入するのが良いと思う。一つのテーマについて小グループに分かれて話し合い、最後に各グループで話し合ったことを発表すると良いと思う。グループ討議のために会場レイアウトを変更する際は、教誨師も含め全員であるのが良い。

(3) その他

ア 建物の何階が会場であるのか、案内がなく、迷う者が多かった。分かりやすく表示する必要がある。

イ 服装について、クールビズで良いのか、上着ネクタイ着用の必要があるのか、分かりづらかった。式典は上着ネクタイ着用であるなら、式典終了後に「クールビズをお願いします」と司会者が案内するのが良い。

ウ 式典が長すぎるとの意見もあるが、一方でこのぐらいで良いという意見もある。式典の内容を個々検討すると、省けるものはないので、次回以降も今回と同様にするのが良い。